

A 学校教育課長 市内各小学校区から地域の実情をよく知っている人を選出している。具体的には、PTA本部役員や青少年健全育成協議会、学校協議会の人が多いようである。

市民スポーツ施設管理事業

Q 工事請負費の内容は。

A 市民スポーツ課長 運動公園に防球ネットを設置するもので、歩行者の安全確保を図るために行うものである。



防球ネットが設置されるグラウンド

入学準備金貸付事業

Q 希望が予算を超えた場合の対応は。

A 教育部参事 20年度の実績についても、予算250万円のところ、140万円を財政課の準備費から充用し、合計390万円を貸し付けている。今後も予算の範囲内で経済的に

困難な家庭に対応していきたいと考えている。

教員免許更新制度

Q 内容について。

A 学校教育課長 21年度から教員免許の有効期限を10年にするもので、期限が切れる前の2年間に30時間程度の更新講習を受けなければならないものである。

Q 生徒への影響は。

A 学校教育課長 30時間の更新講習は、1日6時間を5日間受講するもので、原則として、夏期休業中の8月に実施するため、影響は少ないと考えている。

小中学校給食費

Q 値上げした理由は。

A 学校給食センター所長 食材の物価上昇と二期制を視野に入れた年間の給食予定回数増加によるものである。



特別会計予算 () は前年度予算額

国民健康保険 59億 109万円 (56億9766万円)

老人保健 1805万円 (3億6714万円)

後期高齢者医療 3億4548万円 (3億6714万円)

介護保険 23億3981万円 (21億 403万円)

一本松土地区画整理事業 2億 101万円 (2億7659万円)

若葉駅西口土地区画整理事業 3億7326万円 (2億8846万円)

国民健康保険

Q 健全なる国保財政の運営について。

A 保険年金課長 国民健康保険は、歳出を決めてそれをどういう方法で賄うかということによって歳出を抑制しない限り国保予算は減ることはない。歳出を減らすために市民の方が健康でいられるよう保健指導に力を入れていくことが必要と考えている。

老人保健

20年度より後期高齢者医療制度に移行したため、21年度末の医療費の支払いをもって終了するものです。

後期高齢者医療

Q 保険料の見込みについて。

A 保険年金課長 21年度の被保険者数は、3859人を見込んでいます。20年度の実績に基づき、特別徴収を約6割、普通徴収を約4割として予算計上した。

介護保険

Q 3年に一度の保険料の見直し

にあたり総額約6362万円を増額した理由は。

A 高齢者福祉課長 被保険者の人数の増加と保険料基準額の改定によるものである。

Q 通所型介護予防事業の現状は。

A 高齢者福祉課長 約8000人に案内をして、約2500人が医療機関での判断で該当となり、現在40人が参加している。

一本松土地区画整理事業

Q 事業の見直し状況と事業計画、都市計画変更手続きについて。

A 一本松土地区画整理事務所長 昨年10月に11回の地権者を対象とした事業改善計画案の説明会を開催した。

また、区画整理区域外になり新設道路の整備を予定している箇所への地権者及び地元要望道路の地権者に個別説明を実施し、おおむね了承を得ている。

並行して、事業計画変更などの手続きに向けて現在国、県と協議している。

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 事業内容について。

A 若葉駅西口土地区画整理事務所長 建物移転3件、道路整備工事3件、その他に汚水管、雨水管の整備を予定している。